

絵画金賞及び審査員特別賞講評

賞名・題名・学校名・学年・氏名	講 評
<p>黒部河川事務所長賞</p> <p>黒部川で魚のつかみどり</p> <p>朝日町立さみさと小学校 3年</p> <p style="text-align: right;">みずしま としつぐ 水島 俊胤 さん</p>	 <p>黒部川では魚のつかみどりができるとは驚きました。どんな魚だったんだろう、大きそうですね。きれいな水の透明な感じや人物の大きさを変えて遠近感がよくできています。</p>
<p>黒部河川事務所長賞</p> <p>宇奈月の想出の風景</p> <p>黒部市立田家小学校 6年</p> <p style="text-align: right;">かみや みか 紙谷 実果 さん</p>	 <p>前景に草を大きく描くことで、風景の遠近が強調されています。緑の中に鮮やかに浮かぶ赤い橋を起点に、川が下方にいきよに流れている様子が描かれており、急流黒部川の姿が伝わる絵になっています。</p>
<p>立山砂防事務所長賞</p> <p>ヤマメのち魚ほうりゅう</p> <p>立山町立立山北部小学校 3年</p> <p style="text-align: right;">すぎもと りゅうき 杉本 隆起 さん</p>	 <p>ヤマメは海に下り、サクラマスとなって再び川に帰ってくるのだね。バケツから川の水の流れに稚魚が泳いでいく様子がいきいきと伝わってきます。元気に大きくなって戻ってきてくれたらいいね。</p>
<p>立山砂防事務所長賞</p> <p>激流！常願寺川</p> <p>富山市立藤ノ木小学校 6年</p> <p style="text-align: right;">たむら ゆうすけ 田村 優介 さん</p>	 <p>低い視点で川の真ん中から水の流れをとらえる構図が大変にユニークです。勢いよく流れる水が岩にぶつかり、大きく白い水しぶきがあがる瞬間をとらえ、迫力ある絵になっています。</p>
<p>富山河川国道事務所長賞</p> <p>ほたるをつかまえたよ！！</p> <p>富山市立鶴坂小学校 2年</p> <p style="text-align: right;">つりたに ゆうたい 釣谷 優太 さん</p>	 <p>お友だちのまわりに、たくさんのホタルがとびまわっている様子がとてもよくわかります。切り紙のちぎり絵と組み合わせでできた川の水色が、効果的な画面に仕上げることができました。</p>
<p>富山河川国道事務所長賞</p> <p>川とつり舟</p> <p>富山市立萩浦小学校 5年</p> <p style="text-align: right;">かわべ はると 川邊 晴斗</p>	 <p>実に丹念に描かれた風景画です。遠景には細かく描かれた町が広がり、対照的に前景には川を大きく描き、一そうのつり舟が進みます。赤色と黄色の服を着た二人の子供が川面を真剣に見つめている様子が、背中から伝わります。舟を操る船頭さんと子供たちの姿が川面に反射してゆらゆらと映っている——見る人の心を和ませる絵です。</p>

絵画金賞及び審査員特別賞講評

賞名・題名・学校名・学年・氏名	講 評
<p>利賀ダム工事事務所長賞</p>  <p>やったー、鮎をつかまえた。</p> <p>砺波市立砺波東部小学校 1年</p> <p style="text-align: right;">いたはな なつき 板鼻 夏希 さん</p>	<p>川に入って、鮎をつかまえる子供たちの姿が生き生きと描かれています。真剣な目差し、多分、鮎をつかまえた瞬間の、驚きと喜びが口元の表情に上手に表れています。</p>
<p>利賀ダム工事事務所長賞</p>  <p>小牧ダム</p> <p>氷見市立上庄小学校 4年</p> <p style="text-align: right;">おおにし もえ 大西 萌 さん</p>	<p>1930年、完成当時は東洋一の小牧ダム、全門放流の轟音が聞こえてきます。樹木の手前にある白い柵、重厚な陰影から流れ落ちる白い水流、空に浮かぶ白い雲、遠景の緑の山々、それぞれ描きわけてあり迫力のある絵になっています。</p>
<p>富山・水・文化の財団理事長賞</p>  <p>魚をつかんだおとうさん</p> <p>砺波市立砺波北部小学校 2年</p> <p style="text-align: right;">よしえ しゅせい 吉江 駿星 さん</p>	<p>お父さんの頼もしい姿が大きく描かれています。魚をつかまえたお父さんの表情がとてもいいですね。夏の楽しい家族の思い出が、画面の隅々から伝わってくる作品です。</p>
<p>富山・水・文化の財団理事長賞</p>  <p>夕やけの小矢部川</p> <p>高岡市立古府小学校 6年</p> <p style="text-align: right;">やながわ いっち 柳川 壱智 さん</p>	<p>小矢部川河口に架かる伏木港大橋の上部を大胆にカットし、作者の関心はあくまでも夕暮れの移り変わる光のようです。前景のボートから水に映る黄色へ、向こうに赤い橋と緑のコントラスト、さらに遙か西には夕焼け空が刻々とせまってくる様子が、光の交響曲のように感じられました。</p>
<p>審査員特別賞</p>  <p>にぎやかな川</p> <p>富山市立中央小学校 2年</p> <p style="text-align: right;">よした ゆうた 吉田 悠太 さん</p>	<p>上から眺めた画面の上下に流れる川、左右の並木や家が四角い単純化した画面で構成されており、その中に子どもたちが点在しています。なによりも水彩の透明度の高い絵具や色彩感覚がまるで、スイスの画家パウル・クレーの絵のように感じられ、大人の視線で選びました。</p>
<p>審査員特別賞</p>  <p>六渡寺の橋と庄川の鉄橋</p> <p>射水市立放生津小学校 6年</p> <p style="text-align: right;">いじ たかひろ 生地 賢博 さん</p>	<p>画面の両端から描かれた橋と鉄橋が消失点へ向かう線遠近法を巧みに使い、庄川の河口付近の雄大な川幅を表現しています。水面に映る橋や鉄橋の反射像も効果的です。この絵で最も感心した点は、川面の、手前から奥へ向けてほどこされた繊細な配色です。</p>